

現 在、町内には4人の洞爺湖町地域おこし協力隊が、虻田地区・洞爺地区・温泉地区を拠点に、地域のお手伝いをしながら、町の新たな魅力を伝える活動を行っています。4月から新たに2名が加わりましたので、今月は地域おこし協力隊員4人の紹介をします。



丹野大樹さん 宮本 好さん 渡邊紀子さん 安嶋理人さん

▽丹野大樹さん（東京都出身・NPO洞爺にぎわいネットワーク配属）「平成28年4月から温泉地区担当となり、NPOでのスポーツ・文化・芸術の振興、まちづくりの推進を図る活動と、観光イベントなど町の活性化に携わる事となりました。自然豊かで素晴らしいこの洞爺湖町に少しでも興味を持って頂ける様、日々邁進していきます」

▽渡邊紀子さん（釧路市出身・洞爺湖芸術館配属）「平成28年4月より、洞爺地区・洞爺湖芸術館に勤務しています。芸術の分野で働くのは初めてですが、『とうや湖ぐるっと彫刻公園』など、作品が身近にある洞爺湖で、洞爺湖町民だからこそできるアトイベントの実施などに携わりたいと思っています」

▽宮本 好さん（札幌市出身・洞爺総合支所農業振興課配属）「平成27年4月から洞爺湖町の農作物のPRなどで洞爺地区を中心に活動しています。出産を機に自然豊かで食の宝庫である洞爺湖町で暮らすことを選択しました。住民の皆さんは温かく、子供たちは元気！皆さんと一緒に地域を盛り上げていけるのをとても嬉しく思っています」

▽安嶋理人さん（京都市出身・産業振興課配属）「平成26年7月から約2年間、温泉地区を担当、今年度からは産業振興課に配属先が変わり、洞爺湖町全体を日々回っています。今後も洞爺湖町に住居を構えて事業を行っていくのが目標です。素敵な洞爺湖町の魅力をこれからもずっと伝え続けていきたいです」

地域おこし協力隊は主にSNS（Facebook、Twitter、ブログなど）を中心に、洞爺湖町の素敵なヒト・モノ・コトを日々情報発信中です。これからも町のために力いっぱい頑張ります。

**洞爺湖町の素敵を紹介する
地域おこし協力隊**

丹野大樹さん・渡邊紀子さん
宮本 好さん・安嶋理人さん

を誇る活動と、観光イベントなど町の活性化に携わる事となりました。自然豊かで素晴らしいこの洞爺湖町に少しでも興味を持って頂ける様、日々邁進していきます」

▽渡邊紀子さん（釧路市出身・洞爺湖芸術館配属）「平成28年4月より、洞爺地区・洞爺湖芸術館に勤務しています。芸術の分野で働くのは初めてですが、『とうや湖ぐるっと彫刻公園』など、作品が身近にある洞爺湖で、洞爺湖町民だからこそできるアトイベントの実施などに携わりたいと思っています」

▽宮本 好さん（札幌市出身・洞爺総合支所農業振興課配属）「平成27年4月から洞爺湖町の農作物のPRなどで洞爺地区を中心に活動しています。出産を機に自然豊かで食の宝庫である洞爺湖町で暮らすことを選択しました。住民の皆さんは温かく、子供たちは元気！皆さんと一緒に地域を盛り上げていけるのをとても嬉しく思っています」

▽安嶋理人さん（京都市出身・産業振興課配属）「平成26年7月から約2年間、温泉地区を担当、今年度からは産業振興課に配属先が変わり、洞爺湖町全体を日々回っています。今後も洞爺湖町に住居を構えて事業を行っていくのが目標です。素敵な洞爺湖町の魅力をこれからもずっと伝え続けていきたいです」

地域おこし協力隊は主にSNS（Facebook、Twitter、ブログなど）を中心に、洞爺湖町の素敵なヒト・モノ・コトを日々情報発信中です。これからも町のために力いっぱい頑張ります。

今月のワンショット

MOVE洞爺湖2016—町内外から湖畔の花壇整備などに200人参加

東奔西走

今年もスポーツイベント第一弾の洞爺湖マラソンに、約6,500人のランナーが参加しました。参加者が、おしなべて洞爺湖の景観の素晴らしさとともに語るのは、町民の声援です。給水などでの温かい応援が「苦しい時に励みになった」と言い、ボランティアとの距離の近さを口にします。そんなに大きい大会ではありませんが、逆にその家族的な雰囲気洞爺湖マラソンの魅力であり、多くのリピーターを呼んでいるのだと思います。参加したランナーの皆さんお疲れ様でした。来年も待っています。（H.O）

人口と世帯の動き 4月30日現在（先月比）	
男	4,299 (+12)
女	4,974 (+10)
計	9,273 (+22)
世帯	5,004 (+29)